

平成30年度事業計画

I. 総括

昨年は都議会議員選挙で惨敗した自民党が、わずか3か月後の衆議院議員総選挙（10月）には大勝するというような目まぐるしさが際立った年である。「不確実性」が増すさまざまな情勢の中、本会の年度事業、公益事業を推進しながら期日が一歩一歩迫る大きなイベントへの準備を一層具体化する年度となった。

まず2018年度には、本会創立以来初となる代議員総会を開催する。代議員制移行への主な理由・目的は、①会員数が2,000名を超える組織であること。②従来の仕組みでは総会成立のために書面評決票・委任状を提出していただき、総会出席会員数と合わせて成立した時点では実質的には総会議案が可否決すること。③地区単位で一定会員数ごとの代議員制とすることで地区活動・支部活動ひいては本会の活性化につながる。などである。

2018年度から数えると、1年後(2019年)には関東甲信越診療放射線技師学術大会が東京で開催される。昨年6月21日にキックオフミーティングを開催し大会テーマを『つながる医療 つなげる“和”～One for all, All for One』と決定して準備を進めている。

2年後(2020年)の創立70周年(法人化40周年)記念事業については、今年度内に企画会議を行い、次の10年、更なる未来を見据えた意義ある通過点としたいと思っている。先輩諸兄が残した偉大な遺産について思いを馳せながら、さらに育てて残していくかなければならない。

3年後(2021年)の第37回日本診療放射線技師学術大会+第23回AACRTについては、本会にとって全国学術大会と国際的な大会を同時に開催するという初めての経験となる。日本全国47都道府県会員はもちろん、アジア地域～オーストラリア・ニュージーランドの放射線技師が集う一大イベントであり、日本そして首都東京の職能団体としてしっかりとお迎えしたい。これも昨年12月に本会執行部及び大会長・広報担当とJART執行部及び学術・国際担当理事とで開催準備第1回会議が行われ、実質的なスタートラインに立った。

われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく今年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもS R推進委員会を中心活動していく。

法改正による「診療放射線技師の業務拡大」に伴う統一講習会も今年度も継続して実施する。現在の職務に直接必要がなくても、診療放射線技師職としての業務範囲拡大であるので、新カリキュラムによる教育修了の学生が卒業してくるまでの間にできるだけ多くの既卒者に速やかに受講していただきたい。目先のことだけではなく、更なる業務拡大や将来的な本質的法改正への重要なステップと認識していただきたい。診療放射線技師の役割として、検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、更なる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れる必要がある。

以上のように、本年・1年後・2年後・3年後に向けて、同時進行的な動きが必要となる。役員、会員各位におかれましては、一層のご支援・積極的な会務への参画をお願いする次第である。

II. 定款に基づく本会の事業

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシエントケア学術大会

開催時期：5月

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホール

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後 援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシエントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) ウィンターセミナー

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：11月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

5) 合同学術講演会

開催時期：9月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

6) 日暮里塾ワントインセミナー

開催回数：年間10回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) 看護フェスタ2018

開催時期：5月

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

2) 平成30年度練馬区健康フェスティバル

開催時期：10月

開催場所：としまえん

主 催：練馬区健康部

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

3) 中央区健康福祉まつり2018

開催時期：10月

開催場所：中央区保健所

主 催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

4) OTAふれあいフェスタ29th

開催時期：11月

開催場所：ボートレース平和島

主 催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布

5) 第34回市民健康のつどい

開催時期：11月

開催場所：東村山市いきいきプラザ

主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

6) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。

7) その他

東京都診療放射線技師会の主催で都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

3. 放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で放射線関連機器の完全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

月刊誌「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の

生涯教育の目的で行います。またフレッシャーズセミナー、各種基礎技術講習、業務拡大に伴う統一講習会など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築く

ことができるようになります。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまか生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

III. 委員会事業計画

平成30年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力お願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

1. 専門部委員会

総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年6回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつどいの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

庶務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。(不定期)
- ・会員データベースの再構築を目的に、会員一人ひとりの調査を行う。
- ・委員長と委員との情報の共有化に努める。
- ・会員動向の調査を行い、会員維持の方策を検討する。

編集委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する(毎月第2～3週にて会誌の再校・企画を行う)。
- ・会誌の初校(毎月第1週)、三校(毎月第3週)を紙面およびPDFファイルを使用しおこない翌月1日に発行する。
- ・新連載などの企画検討を行う。
- ・過去の写真データの電子化ならびに管理システムを構築する。
- ・会誌進呈先の再検討を行う。
- ・代議員による総会の記録などの方法を検討する
- ・研修会や各種イベントなどへの取材及び会誌への掲載方法の検討(活性化促進)を行う。
- ・2019年関東甲信越診療放射線技師学術大会の広報活動検討
- ・本会創立70周年記念誌発行準備の検討

学術教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年11回開催する。(毎月第1水曜日開催予定)
- ・ペイシェントケア学術大会を開催する。(平成30年5月開催予定)
- ・サマー・ワインターセミナーを開催する。(平成30年8月、平成31年2月開催予定)
- ・きめこまかな生涯教育を開催する。(平成30年5月、10月、平成31年2月開催予定)

- ・日暮里塾ワンコインセミナーを開催する。(地区との合同開催も含み適時開催予定)
- ・メディカルマネジメント研修会を開催する。(平成30年11月第2木曜日開催予定)
- ・合同学術講演会を開催する。(平成30年9月第2木曜日開催予定)
- ・MRI集中講習会を開催する。(平成31年2月開催予定)

広報委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・行政イベント参加
 - ① 5月：看護フェスタ2018（新宿駅西口広場イベントコーナー）
 - ② 10月：平成30年度練馬区健康フェスティバル（としまえん）
 - ③ 10月：中央区健康福祉まつり2018（中央区保健所）
 - ④ 11月：OTAふれあいフェスタ29th（ボートレース平和島）
 - ⑤ 11月：第34回東村山市民健康のつどい（東村山市役所いきいきプラザ）
- ・イベント主催
 - レントゲン週間（※イベント名、開催時期、開催場所は未定）
- ・物品借用
 - ① 10月：第7回KSHS全国大会
 - ② 10月：板橋フェスティバル
 - ③ 10月：神田明神イベント
 - ④ 11月：板橋区民まつり
 - ⑤ 11月：おとな時間in早稲田の杜2017

厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年10回開催する。
- ・業務関係・給与関係・技師会活動関係等のいずれかをテーマに実態アンケート調査を1回行う。
- ・使用済み切手の収集活動を行う。
- ・都内病院施設の名簿管理を行う。
- ・災害関係への募金活動を行う。
- ・会員親睦行事を開催する。

情報委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・ホームページ定期・随時更新
- ・スマートフォン対応ページの制作
- ・月一回情報委員会会議
- ・2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会PR用資料制作

涉外委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・表彰委員会（2回）の開催準備を行う。
- ・涉外委員会を適宜開催する。
- ・表彰候補者（叙勲、東京都功労者表彰等）の推薦資料をとりまとめる。

- ・定期総会時表彰（小野賞、功労賞等）の準備を行う。
- ・日本診療放射線技師会へ永年勤続表彰等の推薦を行う。
- ・その他関連団体における表彰への推薦を行う。

2. 地区（支部）委員会

第1地区

- ・地区委員会を年 11 回開催する。（原則：8月を除く毎月第3火曜日に開催する）
- ・地区研修会を開催する。（日時・場所：未定）
- ・城東支部研修会を開催する。（日時・場所：未定）
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。（予定：平成30年10月下旬頃）
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会への入会促進を図る。
- ・技師会行事について、地区会員へ広報を行う。
 - ① 地区・支部研修会 ②各種研修会・講演会・セミナー ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 - ④ 新春のつどい等

第2地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（予定：平成30年9月）
- ・支部研修会を開催する。（予定：平成30年7月）
- ・地区委員会を年間10回開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・中央区健康福祉まつり参加（放射線クイズ・乳房しこり触診体験、予定：平成30年10月第4日曜日）
- ・中央区クリーンデー参加（予定：平成30年5月第4日曜日）
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ①総会 ②学術研修会 ③きめこまか人生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 - ⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第3地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。（予定：平成30年11月頃）
- ・支部研修会を開催する。（予定：平成31年2月頃）
- ・地区委員会を年11回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・未入会者には積極的に電話・メール等で入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ① 総会 ②学術研修会 ③きめこまか人生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）

- ⑤学術講演会
- ⑥スポーツ大会
- ⑦新春のつどい等

第4地区

- ・地区主催活動（おもに研修会）を通じて活性化を図る。
- ・会員入会の促進を行う。
- ・城南支部研修会の開催を行う。
- ・第4地区研修会を開催する予定。
- ・OTAふれあいフェスタへの積極的な協力と参加。
- ・地区委員会を年6から8回開催する。（隔月第2木曜日開催原則）
- ・地区委員会を年6から4回メール会議にて開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い活動・情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行い充実した地区活動に繋げる。
- ・小野賞を選考する。
- ・地区委員が積極的に本部・各支部行事に参加し会全体の活性化を図る。
- ・支部内の地区との連絡を密にし、連携を強化していく。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

① 総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）⑤学術講演
⑥親睦行事 ⑦新春のつどい ⑧OTAふれあいフェスタ等

第5地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（平成31年2月頃）
- ・支部学術研修会を開催する。（平成30年10月頃）
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・パンフレット（東放見聞五録/5地区だより）を郵送し、積極的に会員との情報共有と活性化を図る。
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・荒川クリーンエイド活動などに参加し、社会貢献と環境保全を促進する。
- ・東京都診療放射線技師会行事を地区会員へ呼びかけ参加を促進する

①総会 ②学術・教育企画③学術大会（日放技・関東甲信越地域）④学術講演会 ⑤スポーツ大会
⑥新春のつどい等

第6地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（予定：研修会3月、地区交流会8・12月）
- ・支部研修会を開催する。（予定：9月又は10月）
- ・地区委員会を年6回開催する。（奇数月 第3水曜日開催原則）
- ・未入会者には積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿の更新を行う。
- ・地区委員会連絡網の更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

①定期総会 ②新春のつどい ③学術研修会 ④きめこまかな生涯教育 ⑤ワンコインセミナー

- ⑥学術大会（日放技・関東甲信越地域など）
- ⑦学術講演会
- ⑧地区対抗ボウリング大会等

第7地区

- ・地区委員会を開催する。（予定：奇数月第3金曜日開催予定）
- ・支部学術研修会を開催する。（予定：未定）
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。（予定：平成30年10月）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
① 総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第8地区

- ・地区研修会を開催する。（予定：2月）
- ・地区情報交換会を開催する。（予定：8月）
- ・地区委員会を年8回以上開催する。（理事会月 第2木曜日開催原則 メール会議もあり）
- ・入会促進を勧めると共に未納退会会員を少なくする。
- ・次期地区委員候補を探し、地区委員メンバーの活性化を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・OTAふれあいフェスタ2018に参加する。
- ・地区紹介ページの更新
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い、参加率の向上を目指す。
①学術研修会 ②きめこまかな生涯教育 ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）④学術講演会
⑤スポーツ大会 ⑥新春のつどい等

第9地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。（予定：平成30年6月）
- ・支部研修会を開催する。（予定：平成31年2月）
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第10地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。（予定：平成31年3月頃）

- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ① 総会 ② 研修会 ③ 統一講習会 ④ 学術大会 ⑤ 新春のつどい等

第11地区

- ・地区情報交換会を開催する。(予定:8月 夏季情報交換会、2月 新年情報交換会)
- ・城南支部学術研修会を企画開催する。(開催時期未定)
- ・地区学術研修会を開催する。(予定:10月頃)
- ・地区委員会を年9回開催する。(2月、8月、12月を除く)
- ・未入会者には積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・他地区との交流を積極的に図る。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ① 予算総会 ② 決算総会 ③ 学術研修会 ④ きめこまかな生涯教育
 ⑤ 学術大会(日放技・関東甲信越地域) ⑥ 学術講演会 ⑦ スポーツ大会 ⑧ 新春のつどい等

第12地区

- ・地区研修会を開催する。(予定:平成31年1月)
- ・支部研修会を第13地区と合同で開催する。(予定:平成31年2月)
- ・地区委員会を年6回開催する。(開催日はその都度日程調整する)
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行うと同時に会員入会を促進する。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 ① 総会 ② 学術研修会 ③ きめこまかな生涯教育 ④ 学術大会(日放技・関東甲信越地域)
 ⑤ レクリエーション ⑥ 新春のつどい等

第13地区

- ・地区委員会を年6回開催する。(開催月は奇数月とし、開催日はその都度日程調整する。年間の東放技予定表を地区委員へ送信する。)
- ・支部研修会を第12地区と合同で開催する。(平成30年度は13地区担当開催時期未定)
- ・地区研修会を開催する。(予定:2回開催を目標に年度計画を進める)
- ・地区会員名簿を見直すと同時に会員入会を呼びかけていく。
- ・東放技・日放技主催の研修会などへの参加を促進させる。
 ① 総会 ② 学術研修会 ③ きめこまかな生涯教育 ④ 学術大会(日放技・関東甲信越地域)
 ⑤ レクリエーションへの参加 ⑥ 新春のつどい等

第14地区

- ・地区(親睦会)を開催する。(予定:平成29年8月、開催場所:未定)
- ・支部研修会を開催する。(予定:平成30年7月)

- ・第14地区の施設見学会を行う。
- ・地区委員会を年10回開催する。（第2水曜日を開催原則とする）
- ・未入会者への入会促進。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・中央区健康福祉まつりへの参加（予定：平成30年10月）
- ・地区委員を増やす。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ① 総会 ②学術研修会 ③きめこまかなか生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 - ⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第15地区

- ・地区主催活動（研修会・情報交換会）を開催して活性化を図る。（予定：平成30年11月頃）
- ・城南支部研修会の開催補助を行う。
- ・地区委員会を年6回程度開催する。（隔月第2金曜日開催原則）
- ・地区委員の増員をして地区活性化を図る。
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進をはかる。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・OTAふれあいフェスタにスタッフとして参加要請をする。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報して参加の呼びかけを行う。
 - ①総会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域）③学術研修会 ④きめこまかなか生涯教育
 - ⑤親睦行事 ⑥OTAふれあいフェスタ ⑦新春のつどい等

第16地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。（予定：平成31年2月頃）
- ・支部研修会を開催する。（予定：平成30年10月頃）
- ・地区委員会を年11回開催する。原則第3木曜日（8月休会）
- ・新入会の進め入会活動を積極的に行う。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
 - ① 総会 ②学術研修会 ③きめこまかなか生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
 - ⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

3. 特別委員会

表彰委員会

- ・表彰規定に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

SR推進委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会開催（10回程度）。
- ・緊急被ばく医療研修会実施。
- ・災害対策に関する啓発活動。

国際委員会

- ・世界の診療放射線技師の状況を把握するため、ISRRT（世界放射線技師会）やAACRT（アジア・オーストラレーシア放射線技師会）、EACRT（東アジア地域放射線技師会）の動向及び学術大会などの情報収集を行う。
- ・SRTA（ソウル特別市放射線士会）など、相互学術交流の推進。
- ・国際交流を推進するための情報収集及び準備を行う。
- ・学術交流のための準備を行う。
- ・SRTAメンバーの関東甲信越診療放射線技師学術大会（新潟）受け入れ
- ・SRTA学術大会への参加（派遣演題2演題予定）

2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会実行委員会

- ・2019年度関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催地として開催のための準備を行う。
- ・委員会を開催して、開催プログラムおよび開催会場等の検討を行う。
- ・開催に関する広報活動を行う。

以上